

平成23年度

# 高校生建築デザインコンクール

課題／「公営住宅の集会所」



ARCHITECTURE DESIGN  
CONTEST 2011

# はじめに

公共建築物は、行政や教育・文化、医療・福祉、研究など、さまざまな分野で、地域の産業や人々の生活に密接な係わりを持ち、地域の活性化や道民生活の向上並びに気候風土等と調和した魅力あるまちづくりを推進する上で重要な役割を果たしています。

北海道では、平成8年度から建物を所管する部局の協力を得ながら、「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

道内の工業高校生（建築系）を対象に夢のあるユニークなデザインを募集し、その提案を実施設計に取り入れ、道民に愛され親しまれる施設となるよう建設を進めています。

さらに、平成12年度からは、コンクールの内容を一層充実するため、(社)日本建築家協会北海道支部、(社)北海道建築士事務所協会、(社)北海道建築士会との共催事業としています。

将来建築を志す高校生の皆さんがコンクールに参加することで、公共建築物について考え、そして学んだ経験は、今後建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になるものと期待しています。

今回募集した課題につきましては、夕張市に整備を予定している（仮称）南清水沢団地の「公営住宅の集会所」のデザインの提案であり、5校90人から53作品の応募がありました。

公営住宅に入居する多様な入居者や地域の高齢者などが利用する集会所について、建物及び外構のユニバーサルデザインや採光、積雪など自然環境に配慮することなどを求め、高校生らしい創造性にあふれたレベルの高い作品が多く寄せられました。

応募された皆様には、心からお礼申し上げます。

厳正な審査を経て、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作5作品が選定されました。受賞者の皆さん、誠におめでとうございます。

北海道においては、この度選定されました最優秀作品の設計主旨やアイデアを施設づくりに取り入れ、道民に親しまれる公共建築物づくりに活かしてまいります。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校でご指導いただきました先生方をはじめ、関係機関の皆様には多大なご協力を賜り厚くお礼申し上げますとともに、ご応募いただいた高校生の皆さんには、今後も専門の勉強に励まれ、将来社会でご活躍されることを心からお祈り申し上げます。

平成23年12月

北海道建設部長 **武田準一郎**

平成23年度

## 高校生建築デザインコンクールの概要

道民に愛され親しまれる公共建築物づくりを進めるため、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

このコンクールは、次世代を担う建築技術者となる道内工業高等学校(建築系学科)に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

最優秀作品に選ばれた作品の提案主旨は、北海道において、実施設計に取入れ道民に親しまれる施設となるよう建設を進めていきます。

- 1 課 題 「公営住宅の集会所」  
公営住宅に入居する多様な入居者や地域の高齢者などが利用する集会所を設計してください。
- 2 応募資格 道内工業高等学校(建築系学科)に在籍する個人又は3名以下のグループ
- 3 提出図面 JIS規格A2判(420mm×594mm)横置き1枚片面に下記の全ての図面を描く
  - ① 作品タイトル
  - ② 設計主旨
  - ③ 配置図・平面図 1/50～1/100
  - ④ 断面図 1/50～1/100
  - ⑤ 立面図 1/50～1/100
  - ⑥ スケッチ
  - ⑦ 面積表
- 4 応募作品 90名から53作品の応募
- 5 入選作品 最優秀作品1作品 ・ 優秀作品3作品 ・ 佳作5作品
- 6 経 過
 

募集要項配付	平成23年5月26日
作品受付	平成23年8月22日～平成23年9月2日
選定委員会	平成23年9月12日
作品展	平成24年1月12日～平成24年1月13日
- 7 選定委員
 

遠藤謙一良	(社)日本建築家協会北海道支部副支部長
仙座 猛	(社)北海道建築士事務所協会業務・技術委員会担当副会長
本吉 定	(社)北海道建築士会まちづくり委員会副委員長
菅原 行彦	北海道教育庁学校教育局高校教育課長
木本 晃	北海道建設部住宅局住宅課長
須藤 公之	北海道建設部建築局建築整備課長



## 審査講評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の工業高等学校(建築系学科)に在籍する建築を志す生徒の皆様から夢のあるアイデアを募集し、最優秀作品の趣旨を実際の設計に活かして、道民から愛され親しまれる公共建築物づくりを進めようとするものです。今年度も、多くの関係者に支えられて、高校生建築デザインコンクールを盛会に進めることができました。選定委員会を代表して、関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

今回の課題は、夕張市に新たに整備する木造平屋建て延べ床面積80㎡程度の「公営住宅の集会所」で、団地の入居者や周辺住民のコミュニティ形成の要となる施設です。

応募された皆様は、夕張市の歴史や産業などを調べ設計のコンセプトに取り込み、また、人々が集いたくなるようなプランとするためアイデアを煮詰めて設計されたことと思います。

応募作品は、高校生らしい若々しい発想によるデザインとそれぞれ工夫された設計の提案が見られました。また、多くの作品から夕張市民に元気になってもらいたいという思いが伝わってきて大変嬉しく思いました。

審査にあたっては

- ・高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか。
- ・設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
- ・立地条件を活かしているか。
- ・実施設計に反映させ得るデザインであるか。

と言った観点から、厳正に審査を重ねた結果、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、佳作5作品を選定いたしました。

このほか、惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい創造性に溢れたデザイン提案が数多くありました。

今回、応募いただきました皆様の今後のご活躍を期待いたします。

平成23年度高校生建築デザインコンクール選定委員会  
委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 須藤 公之

## 平成23年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

### 最優秀作品賞 (1作品)

植木 亮輔	(北海道札幌工業高等学校 1年)
本間 悠太	(北海道札幌工業高等学校 1年)
榮田 民人	(北海道札幌工業高等学校 1年)

### 優秀作品賞 (3作品)

中谷 鴻	(北海道札幌工業高等学校 3年)
宮川 和也	(北海道札幌工業高等学校 3年)
斉藤はつめ	(北海道函館工業高等学校 3年)
市原 直典	(北海道苫小牧工業高等学校 3年)
佐々木湧太	(北海道苫小牧工業高等学校 3年)
小林 逸人	(北海道苫小牧工業高等学校 3年)

### 佳 作 (5作品)

工藤 遼一	(北海道小樽工業高等学校 3年)
一戸 友輝	(北海道小樽工業高等学校 3年)
田畑 雄大	(北海道札幌工業高等学校 3年)
笹本生武樹	(北海道札幌工業高等学校 3年)
西口 敬太	(北海道札幌工業高等学校 3年)
本保 力也	(北海道小樽工業高等学校 3年)
山本 博紀	(北海道小樽工業高等学校 3年)
秋山 愛斗	(北海道小樽工業高等学校 2年)
久米田和義	(北海道小樽工業高等学校 2年)
長谷川大樹	(北海道小樽工業高等学校 2年)
三上 厚輔	(北海道函館工業高等学校 3年)



優秀  
作品賞

北海道札幌工業高等学校

中谷 鴻 (3年)  
宮川 和也 (3年)



Petals of cherry blossoms

設計趣旨

夕張は財政破綻をきっかけに人口は減少していきました。そんな夕張を元気にしようとするプロジェクト、「夕張桜守」を知り、とても感動しました。市民全員が協力して、桜やもみじを植え、育て、日本一の桜の名所にするという町づくりが夕張を救うと思います。夕張の集会所は、その桜ともみじをモチーフにしました。上から見ると、もみじの葉を思わせる5枚の大壁で形態を表現し、横から見ると、大きな桜色の壁が一枚の桜の花びらに見えます。敷地には毎年1本ずつ苗を植えるスペースを設け、桜ともみじでいっぱいになります。桜ともみじが市民に元気を与え、この建物は夕張を象徴する建物になり、夕張は桜ともみじで溢れるでしょう。

審査講評

復興の桜を植栽に取り入れ、もみじの葉をモチーフとし放射状に配置された空間は、変化に富んだ魅力的な空間となっており、若々しく、シャープなデザインは独創的で、個性あふれる優れた作品として高く評価されました。

優秀  
作品賞

北海道函館工業高等学校

斉藤はつめ (3年)



逸楽 ~懐かしさ溢れる集会場~

設計趣旨

外観は、昔夕張に多く見られた炭鉱住宅をイメージしてデザインしました。そのため、お年寄りの方や地域住民に親しみやすい雰囲気となっています。庭には炭鉱をイメージした遊具や、木を活かした遊具を設置しています。屋根にはソーラーパネル、小窓を設置し光を十分に取り入れることができ、煙突は通気口の役割を果たし、冷暖房負荷の低減を目指しました。室内は、木の温もりを感じられる内装とし、段差のないユニバーサルデザインを心がけました。「逸楽」とは、「気ままに遊び、楽しむ」と言う意味があり、皆が集い楽しめる集会場になっていくことを願っています。

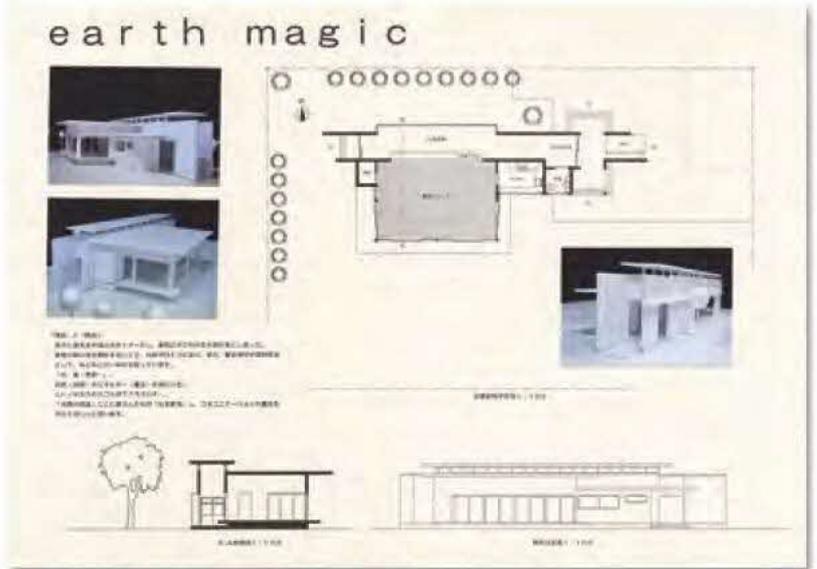
審査講評

炭鉱住宅をイメージしたノスタルジックなプランは、古さ、懐かしさと郷土への愛着が感じられる。夕張のモチーフで丁寧に作り込まれ、見ていて楽しくなる個性的なデザインが高く評価されました。

優秀  
作品賞

北海道苫小牧工業高等学校

市原 直典 (3年)  
佐々木湧太 (3年)  
小林 逸人 (3年)



earth magic

設計趣旨

「開放」と「解放」  
雄大に連なる夕張山地をイメージし、東西にのびやかな平面計画にしました。  
南側の開口部を開放することで、内部がひとつになり、また、集会室が中間の領域として、外と内との一体化を図っています。  
「光・風・季節…。」  
自然(地球)のエネルギー(魔法)を取りこむ。  
ヒトノチカラモスコシダケプラスシテ…。  
「空間の開放」  
ここに集う人たちが「心を解放」し、コミュニケーションの魔法をかけてほしいと思います。

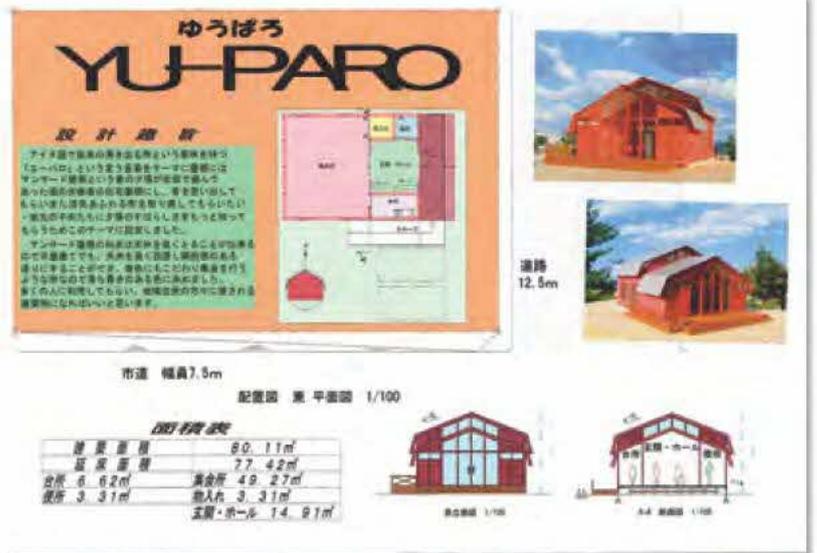
審査講評

夕張の山並に対し、庇で強調された水平感のあるフォルムは美しく、北側の土間空間から南に配置された集会場のプランは明快で快適な空間が実現している。  
集会所に中間領域を取り入れた独創的なアイデアと個性的なデザインが高く評価されました。

佳作

北海道小樽工業高等学校

工藤 遼一 (3年)  
一戸 友輝 (3年)



YU-PARO

設計趣旨

アイヌ語で鉱泉の湧き出る所という意味を持つ「ユーパーロ」という言葉をテーマに屋根にはマンサード屋根という昔の夕張が炭鉱で盛んであった頃の労働者の住宅屋根にし、昔を思い出してもらいたいまた活気あふれる町を取り戻してもらいたい・地元の子供たちに夕張のすばらしさをもっと知ってもらうためこのテーマに設定しました。  
マンサード屋根の利点は天井を高くとることが出来るので平屋建てでも、天井を高く設置し開放感のある造りにすることができ、着色にもこだわり集会を行うような所なので落ち着いた色のある色に決めました。  
多くの人に利用してもらい、地域住民の方々に愛される建築物になればいいと思います。

審査講評

若々しく、木の持つ力強さが伝わってくる。  
また、天井が高い空間やウッドデッキからのアプローチが魅力的な作品である。

佳作

北海道札幌工業高等学校

田畑 雄大 (3年)  
 笹本生武樹 (3年)  
 西口 敬太 (3年)



Steam Locomotive ~希望を運ぶ蒸気機関車~

設計趣旨

昔、石炭で賑わっていた夕張をまた石炭で復活させたいと思い石炭から思いついたのが蒸気機関車です。蒸気機関車は石炭を燃やして動き昔の夕張の経済を支えた乗り物なので今の夕張にまた希望を運んでくれるよう、蒸気機関車の形に設計しました。

この集会所を設計するとき工夫した点は、玄関ホールに石炭ストーブを置き、それを囲むように椅子を並べ冬に集会があった時に中に入ってすぐに温まれるようなスペースにし、石炭ストーブの煙を外の煙突から出し、より蒸気機関車に見えるように工夫しました。

屋根を円形にし、雪を下ろしやすい設計にして、またソーラーパネルを設けました。

審査講評

機関車をイメージしたシンプルでオリジナルなデザインは、個性的で面白い。  
 また、配置計画のバランスや老若男女が楽しめる屋外空間の提案が良い作品である。

佳作

北海道小樽工業高等学校

本保 力也 (3年)  
 山本 博紀 (3年)



みんなんち

設計趣旨

集会場は大切な話し合いの場。コミュニケーションの場。

吹き抜けから差し込む光は開放感を生み、みんなが気持ちよく話すのによい環境だと思います。

晴れの日、子供たちが遊ぶ姿を見ながら、大人たちはデッキで食事やおしゃべりを楽しめます。

冬は豪雪が心配ですが、北側の壁はすべて屋根で覆ったので、除雪の心配がありません。

夕張復活の原動力となるのは、市民一人ひとりだと思います。だからこそ、町のみんながお互いを知り、家族のような関係を築き、夕張と夕張の人たちを好きになることが大切だと思います。

“みんなんち”が、そんなきっかけの場になってくれたらうれしいです。

入り口は縦坑。壁と屋根はメロンをイメージしたデザインです。

審査講評

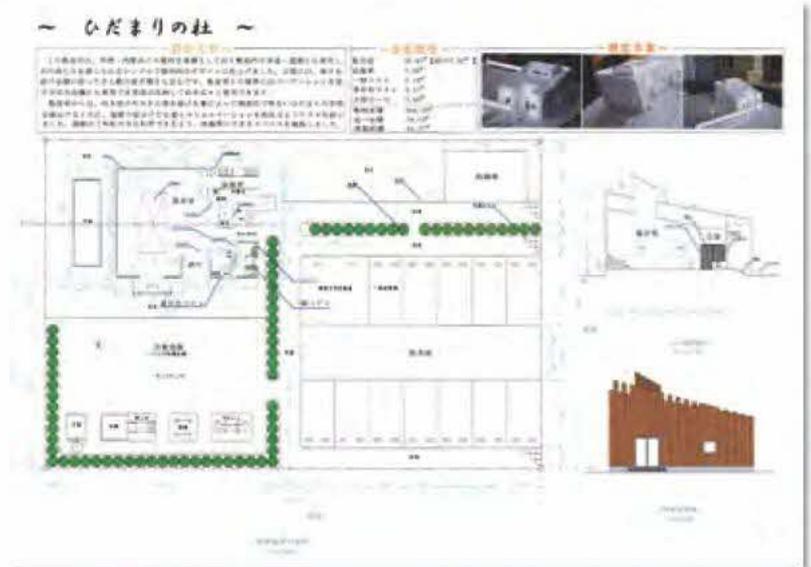
配置・プラン・雪を考慮した屋根形と光溢れる形は大変優れている。

また、模型によるプレゼンテーションが優れている作品である。

佳作

北海道小樽工業高等学校

秋山 愛斗 (2年)  
久米田和義 (2年)  
長谷川大樹 (2年)



〜ひだまりの杜〜

設計趣旨

この集会所は、外壁・内壁共に木質材を基調としており敷地内の歩道・遊園にも使用し、木の温もりを感じられるシンプルで個性的なデザインに仕上げました。  
 玄関には、椅子を設け足腰の弱った方も靴の脱ぎ履きも安心です。  
 集会室との境界にはパーテーションを設け大切な会議にも使用でき普段は収納しておき広々と使用できます。  
 集会室からは、吹き抜けや大きな窓を設ける事によって開放的で明るいひだまりの空間を演出すると共に、遊園で遊ぶ子ども達とコミュニケーションを取れるようテラスを設けました。  
 遊園はご年配の方も利用できるように、体操等のできるスペースを確保しました。

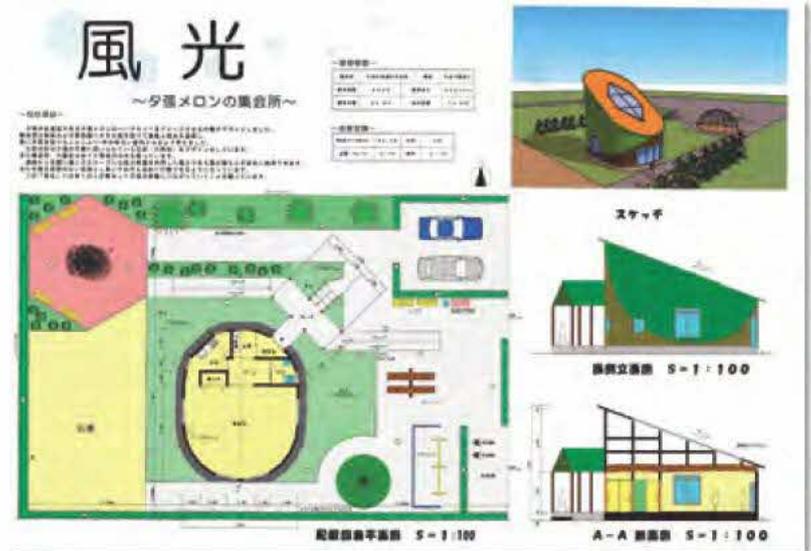
審査講評

全体として木のかたまりを感じさせ、木造公住団地のシンボルとなり得る。  
 縦格子の外観が特徴で独創的なデザインの作品である。

佳作

北海道函館工業高等学校

三上 厚輔 (3年)



風光〜夕張メロンの集会所〜

設計趣旨

夕張の名産品である夕張メロンのハーフカットをイメージさせる外観でデザインしました。  
 集会室は南面および東西面に大きな窓を設けて通風と採光を確保し、更に天窓を設けることにより1年中明るい室内となるよう考えました。  
 天窓の形は夕張の市章に用いられている石炭(六角形)をデザイン化しています。  
 また構造材、内装材は全て夕張地方の木を使っています。  
 道路から玄関に通じるスロープには風力発電を利用した電力で冬も雪が積もらず安全に使用できます。  
 また全面を段差のない床面とし車いすの方も自由に行動できるようになっています。  
 この「風光」には多くの人が集まって夕張の発展につながっていくことを願っています。

審査講評

夕張メロンを直接的にイメージさせる楕円形のプランやフォルムにユニークさ、自由さと可能性を感じる作品である。

# 平成23年度高校生建築デザインコンクール応募者名簿

## 北海道札幌工業高等学校

- 中谷 鴻 [3年]
- 宮川 和也 [3年]
- 2名グループ
  
- 田畑 雄大 [3年]
- 笹本生武樹 [3年]
- 西口 敬太 [3年]
- 3名グループ

## 北海道函館工業高等学校

- 大西 伽奈 [3年]
- 斉藤はつめ [3年]
- 中嶋健四郎 [3年]
- 野村 彩華 [3年]
- 三上 厚輔 [3年]
- 青木友梨香 [2年]
- 伊藤 繪沙 [2年]
- 岩城 正寛 [2年]
- 遠藤 暉知 [2年]
- 木津谷修平 [2年]
- 木津谷千香子 [2年]
- 木村 愛里 [2年]
- 久保 祐二 [2年]
- 小堀 竜輔 [2年]
- 斉藤 理紗 [2年]
  
- 佐々木華音 [2年]
- 嶋田さなみ [2年]
- 杉本 沙弥 [2年]
- 高田 知美 [2年]
- 谷岡 玲奈 [2年]
- 谷口 遥香 [2年]
- 寺尾 実耶 [2年]
- 西里 郁香 [2年]
- 庭田 涼 [2年]
- 水上 幸大 [2年]
- 棟方 航助 [2年]
- 村上 真優 [2年]
- 山田 有紗 [2年]
- 吉崎 美紅 [2年]

## 北海道小樽工業高等学校

- 秋山 愛斗 [2年]
- 久米田和義 [2年]
- 長谷川大樹 [2年]
- 3名グループ
  
- 本保 力也 [3年]
- 山本 博紀 [3年]
- 2名グループ
  
- 藤枝 竜也 [2年]
- 柴田 幸徳 [2年]
- 池田 侑樹 [2年]
- 3名グループ

## 北海道旭川工業高等学校

- 佐藤 圭吾 [3年]
- 吉澤 絃奈 [2年]

## 北海道苫小牧工業高等学校

- 市原 直典 [3年]
- 佐々木湧太 [3年]
- 小林 逸人 [3年]
- 3名グループ
  
- 長屋 政宏 [3年]
- 多村 翔太 [3年]
- 木村 洸太 [3年]
- 3名グループ
  
- 清水統士哉 [3年]
- 朝倉 拓哉 [3年]
- 川合 政人 [3年]
- 3名グループ
  
- 三上 暖 [3年]
- 川田 俊希 [3年]
- 吉田 周平 [3年]
- 3名グループ
  
- 浅野 勇太 [3年]
- 小野寺貴哉 [3年]
- 尾崎 拓哉 [3年]
- 3名グループ
  
- 猪狩 慎也 [3年]
- 水上 豪 [3年]
- 竹田 翔太 [3年]
- 3名グループ
  
- 山岸 拓海 [3年]
- 木村 一也 [3年]
- 2名グループ
  
- 安ヶ平健人 [3年]
- 三田 直樹 [3年]
- 熊谷 薫 [3年]
- 3名グループ
  
- 櫻井 美聡 [3年]
- 川村 理沙 [3年]
- 奈良史佳子 [3年]
- 3名グループ
  
- 多田 和也 [3年]
- 小川 貴也 [3年]
- 大淵 友哉 [3年]
- 3名グループ
  
- 稲葉 匡俊 [3年]
- 伊藤 稜真 [3年]
- 鹿角 祐太 [3年]
- 3名グループ
  
- 西本 昂平 [3年]
- 桑原 大夢 [3年]
- 高山 拓也 [3年]
- 3名グループ
  
- 水上 大輝 [3年]
- 高西 純平 [3年]
- 世界 尚志 [3年]
- 3名グループ

## 高校別応募作品数一覧

学校名	応募作品数
札幌工業高等学校	3
函館工業高等学校	29
小樽工業高等学校	6
旭川工業高等学校	2
苫小牧工業高等学校	13
計	53

応募53作品、参加人数90名



## ARCHITECTURE DESIGN CONTEST 2011



# ARCHITECTURE DESIGN CONTEST 2011



主催

北海道 (社) 日本建築家協会北海道支部 (社) 北海道建築士事務所協会 (社) 北海道建築士会

北海道建設部建築局ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kkr/>

平成23年12月